

第40回 老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会

プ ロ グ ラ ム



2025 年 8 月 29 日（金） 9 : 30 ~ 18 : 00
8 月 30 日（土） 9 : 30 ~ 17 : 00

会 場：広島国際会議場（広島市）

〒730-0811

広島県広島市中区中島町 1-5 地下 2 階ラン

ホームページ：<https://40th.samrc.jp>

<会場へのアクセス>

【JRからのアクセス】

▼JR 広島駅から

- ・市内電車：8月3日からルートやダイヤが新しくなりますので以下のホームページを確認してください。

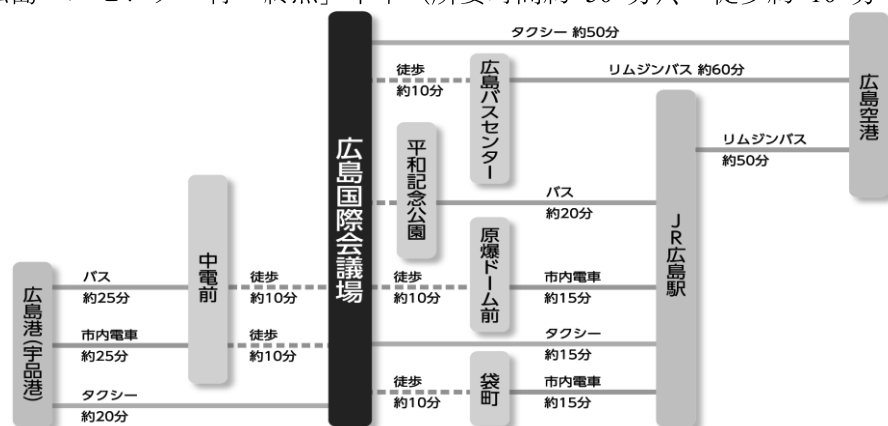
広島電鉄：<https://www.hiroden.co.jp/index.html>

広島国際会議場：<https://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/access.html>

- ・タクシー：所要時間約 15 分（2,000 円弱）

▼広島空港

- ・リムジンバス：空港ターミナルビル 1 階到着フロア 1 番ホームより、広島バスセンター行「終点」下車（所要時間約 50 分）、徒歩約 10 分です。



<発表について>

口演発表時間（一般演題）

1 演題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）

発表はご自身の PC（原則）で行ってください。接続は HDMI もしくはミニ D-Sub 15pin（VGA）となります。Mac をご利用の方は接続アダプターもご準備ください。

ポスター発表

一般口演の方は、縦 180cm×横 90cm のパネルを準備しておりますので、ポスターをご掲示ください（パネル左上の筆頭著者名が記載されている場所）。ポスターの形式は自由といたしますが、ポスター上部にタイトル・演者（発表者、共同演者）、施設名を必ず記載ください。1 日目 16：30 からの休憩時間などで質問者等にご対応ください。若手研究者奨励賞選考のための参考といたします。

<撮影・録音等について>

本大会では、全ての講演（一般演題、特別講演、企画講演等）の写真撮影、録音およびビデオ（動画）撮影等を行うことを禁止しております。なお、大会事務局において、大会の記録および学会ホームページ用フォトアルバム作成のために写真撮影等を行うことがありますのでご了承下さい。

第 40 回老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会 日程

第 1 日 8月29日（金）		
9:00	開場（受付開始）	
9:30	開会の辞：味八木 茂（香川大学）	
9:35	I. 一般演題：老化制御・疾患関連（1） 7演題	座長：伊藤 公一 （東京大学大学院）
10:50	休憩/ポスター掲示	
11:00	第40回記念講演 ～彰往察来～ 宮本 政臣（APRINOIA Therapeutics 株式会社） 演題：老化促進モデルマウスSAMP8およびSAMP10の行動生理学的特性 上野 正樹（香川大学） 演題：SAMの病理像について～SAMP8を中心に～	司会：細川 昌則 （SAM学会会長）
12:30	昼休み（75分）/ポスター掲示・閲覧	評議員会 地下1階 会議運営事務室
13:45	II. SAMを知る 1.SAM系統の維持管理報告：形質モニタリングのデータについて 2. 一般演題（3演題） 3. SAMの飼育・実験に関する質問・意見のコーナー	司会：海野 けい子 （静岡県立大学）
14:30	シンポジウム 老化を知り、制御するI 河村 拓史（東北大学大学院） 演題：運動は老化を巻き戻せるか？ —DNAメチル化老化時計からみた生物学的老化の制御— 宮崎 充功（広島大学大学院） 演題：冬眠動物の筋肉に学ぶ：骨格筋老化と再生の制御機構を探る 篠原 正浩（国立障害リハビリテーションセンター研究所） 演題：骨と老化と疾患 吾郷 由希夫（広島大学大学院） 演題：社会的孤立による情動・認知機能変化とケタミンによる回復の 神経基盤	司会：樋口 京一 （名桜大学大学院） 西村 泰光 （川崎医科大学）
16:30	休憩/ポスター発表・閲覧	
17:00	特別講演1 演題：ミトコンドリア活性化薬マイルピンの可能性 ～抗老化医療への新たな展望～ 柳 茂（学習院大学）	司会：味八木 茂 （香川大学）
18:00	1日目終了・移動	
19:00	懇親会（おりづるタワー 12階）	

第 2 日 8月30日（土）		
9:00	開場	
9:30	III. 一般演題：老化制御・疾患関連（2） 7演題	座長：南 彰 （順天堂大学）
10:50	休憩（10分）	
11:00	特別講演2 山西 芳裕（名古屋大学） 演題：AI駆動型・データ駆動型の創薬と薬理研究	司会：高橋 良哉 （東邦大学）
12:00	昼休み（50分）/ポスター閲覧	
12:50	総会	
13:30	教育講演 今野 雅允（産業技術総合研究所） 演題：RNA修飾による消化器がんの進展機構の解明と革新的診断法の開発	司会：森 政之 （信州大学）
14:20	休憩（10分）/ポスター撤収	
14:30	シンポジウム 老化を知り、制御するII 松本 光晴（協同乳業株式会社研究所） 演題：腸内細菌叢由来ボリアミンを利用した老化遅延戦略 大久保 剛（仙台北百合大学） 演題：食事で加齢による睡眠の変化に対応できるのか？ 秋山 謙太郎（岡山大学大学院） 演題：口腔と老化—咀嚼機能低下から始まる全身の衰えとその制御に 向けた補綴的視点 中島 歩（山梨大学大学院） 演題：老化と腎臓、間葉系幹細胞を用いた慢性腎臓病に対する治療法の 開発研究	司会：松原 主典 （広島大学大学院） 千葉 陽一 （香川大学）
16:30	休憩（10分）/ポスター撤収	
16:40	若手研究奨励賞 授賞式	
16:55	閉会の辞：味八木 茂（香川大学）	

第1日 【8月29日（金）】

9:00

開場

9:30～9:35

開会の辞

第40回老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会大会長
味八木 茂（香川大学医学部）

研究報告（○は演者）

9:35～10:50

I. 一般演題：老化制御・疾患関連（1）

座長：伊藤 公一（東京大学大学院農学生命科学研究科）

1. 老化促進モデルマウス（SAMP10）の一次体性感覚野における Cat-315 陽性 PNN 発現変化の発達期解析

○上野 浩司¹、北野 絵莉子²、森 祥子²、高橋 優²、石原 武士²

¹川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科、²川崎医科大学 精神科学教室

2. 老化促進モデルマウス SAMP10 の血清 BDNF 濃度は加齢に伴い低下する

○中島 健輔¹、大神 正次¹、今泉 心¹、大磯 茂^{1,2}

¹長崎国際大学 薬学部薬学科、²長崎国際大学大学院 薬学研究科

3. 更年期モデルマウスの脳内アミロイド蓄積に対する海産物 A の予防効果

○井澤 彰吾¹、Azliza Mad Anuar^{1,2}、古宮 栄利子²、渡邊 マキノ²、塚本 庸平¹、
紅林 佑希¹、高橋 忠伸¹、秋山 信彦³、竹内 英之¹、南 彰^{1,2}

¹静岡県立大学 薬学部 生化学分野、²順天堂大学 薬学部 機能形態学分野、³東海大学 海洋学部

4. 老化促進モデルマウス（SAMP1）におけるクメストロールを多く含む豆モヤシの抗老化作用メカニズムについて

○嘉数圭祐¹、福成温¹、熊井まどか²、吉村亮二²、小川由紀子¹、田中宏光¹

¹長崎国際大学 薬学部、²健康管理学部

5. 骨格筋における加齢に伴ったシアリダーゼの酵素活性やアイソザイム発現量の減少

○上杉尚輝¹、藤田耕成¹、塚本庸平¹、紅林佑希¹、高橋忠伸¹、古宮栄利子²、渡邊マキノ²、
大坪忠宗³、池田潔^{1,3}、村上光¹、原雄二¹、竹内英之¹、南彰^{1,2}

¹静岡県立大学大学院 薬学研究院 生化学講座、²順天堂大学 薬学部 機能形態学分野、

³広島国際大学 薬学部 有機合成化学

6. 老化促進モデルマウス (SAMP8) の老化に対するアコヤガイ貝殻真珠層抽出成分の効果

○川南 桃子¹、大町 知輝¹、山本 花菜¹、木本 咲希¹、長谷川 靖¹

¹室蘭工業大学大学院

7. オステオポンチン由来機能性ペプチド局所投与が SAMP10 下肢骨格筋損傷モデルの再生修復へ及ぼす影響に関する検討

○岸野史佳¹、森田憲司¹、乾千珠子²、横山雄起³、山本浩之³、山本浩文³、

濱田吉之輔⁴、田中晋¹

¹大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔外科学講座、²大阪歯科大学 口腔解剖学講座、

³大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 分子病理学教室、

⁴大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 医療経済・経営学寄附講座

10 : 50～11 : 00 休憩/ポスター掲示

11 : 00～12 : 30

第 40 回記念講演 ～彰往察来～

1. 老化促進モデルマウス SAMP8 および SAMP10 の行動生理学的特性

宮本 政臣 (APRINOIA Therapeutics 株式会社)

2. SAM の病理像についてーSAMP8 を中心にー

上野 正樹 (香川大学医学部)

司会 : 細川 昌則 (SAM 学会会長)

12 : 30～13 : 45 昼休み/ポスター掲示・閲覧

〈12 : 30～13 : 30 評議員会、地下 1 階 会議運営事務室〉

13 : 45～14 : 30

Ⅱ. SAM を知る

司会 : 海野 けい子 (静岡県立大学 茶学総合研究センター)

1. SAM 系統の維持管理報告 : 形質モニタリングのデータについて

(日本エスエルシー (株))

2. 一般演題

1. *Serpina3n* 遺伝子の正常化は SAMP8 マウスの学習記憶障害を改善する

○磯部 正治¹、森 寿²、海野 けい子³、上野 正樹⁴、千葉 陽一⁴、吉田 知之²、
和泉 宏謙²、黒澤 信幸¹

¹ 富山大学学術研究部工学系、² 富山大学学術研究部医学系、

³ 静岡県立大学茶学総合研究センター、⁴ 香川大学医学部

2. 絶食－再摂食時の組織変化における老化促進モデルマウス SAMP8 と SAMR1 の違い

○大寺 恵子¹、高橋 良哉¹

¹ 東邦大学 薬学部 生化学教室

3. 老化促進モデルマウス SAMP8 および SAMR1 における加齢による腸内細菌叢の変化

○鈴木 武博¹、岡村 和幸¹、中嶋 信美²、佐藤 弥雪¹、村井 景¹

¹ 国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康領域

² 国立研究開発法人 国立環境研究所 生物多様性領域

3. SAM の飼育・実験に関する質問・意見のコーナー

14 : 30～16 : 30

シンポジウム 老化を知り、制御する I

運動は老化を巻き戻せるか？

—DNA メチル化老化時計からみた生物学的老化の制御—

河村 拓史（東北大学大学院）

冬眠動物の筋肉に学ぶ：骨格筋老化と再生の制御機構を探る

宮崎 充功（広島大学大学院）

骨と老化と疾患

篠原 正浩（国立障害リハビリテーションセンター研究所）

社会的孤立による情動・認知機能変化とケタミンによる回復の神経基盤

吾郷 由希夫（広島大学大学院）

司会： 樋口 京一（名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科）

西村 泰光（川崎医科大学）

16 : 30～17 : 00 休憩/ポスター発表・閲覧

17 : 00～18 : 00

特別講演 1

**ミトコンドリア活性化薬マイトルビンの可能性
～抗老化医療への新たな展望～**

柳 茂（学習院大学理学部）

司会：味八木 茂（香川大学医学部）

19 : 00～21 : 00 懇親会（おりづるタワー 12 階）

第2日 【8月30日（土）】

9：30～10：50

Ⅲ. 一般演題：老化制御・疾患関連（2）

座長：南 彰（順天堂大学薬学部）

1. 老化促進モデルマウス (SAMP8) における LED 光に含まれる波長や曝露時間、光強度を変化させた際の睡眠および寿命への影響評価（2025 年度経過報告）

○岡村 和幸¹、佐藤 弥雪¹、野原 恵子¹

¹ 国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康領域

2. Perfluorooctanoic acid (PFOA) の長期曝露が老化促進モデルマウス (SAMP8) に与える影響

○柳澤 利枝¹、岡村 和幸¹、原田 一貴¹、鈴木 武博¹、小池 英子¹

¹ 国立環境研究所 環境リスク・健康領域

3. 茶の実油の摂取による老化促進モデルマウス (SAMP8) の短期記憶の改善

○海野けい子¹、田口今日子¹、長谷正²、目黒真一³、亀岡葉子¹、中村順行¹

¹ 静岡県立大学茶学総合研究センター、² 花王株式会社研究開発部門、

³ 花王株式会社バイオ・マテリアルサイエンス研究所

4. 老化促進モデルマウス (SAMP1) と通常の老化マウスにおける *Dermatophagoides farinae* 誘導アレルギー性喘息およびハプテン誘導アレルギー性接触皮膚炎の病態形成比較

○金木 真央¹、大平 智春¹、石田 浩史¹、高木 善市²、福山 朋季¹

¹ 麻布大学大学院 獣医学研究科 薬理学研究室、² 日本エスエルシー株式会社

5. 老化促進マウスにおける乳酸菌・酵母発酵産物摂取による老化抑制効果の検討

○戸田（徳山）麗子¹、遊道 俊雄¹、田島 隼人¹、梅原 茉愛¹、伊地知 耕平¹、遠藤 美樹¹、引田 綾香¹、里村 一人¹

¹ 鶴見大学 歯学部 口腔内科学講座

6. ヴィーガン食におけるグリセロホスホコリン投与が老化促進モデルマウス (SAMP8) の老化に与える影響

○原田 真里那¹、大久保 剛²、味八木 茂³、松原 主典¹

¹ 広島大学大学院 人間社会科学研究科、² 仙台白百合女子大学 人間学部、³ 香川大学 医学部

7. SAMP6 マウスの骨量低下に対する漢方薬「六君子湯」の有用性

○山本 浩一¹、山本 景子¹

¹森ノ宮医療大学 医療技術学部 診療放射線学科

10 : 50～11 : 00 休憩

11 : 00～12 : 00

特別講演 2

AI 駆動型・データ駆動型の創薬と薬理研究

山西 芳裕（名古屋大学大学院情報学研究科）

司会：高橋 良哉（東邦大学）

12 : 00～12 : 50 昼休み（50 分）/ポスター閲覧

12 : 50～13 : 30 総会

13 : 30～14 : 20

教育講演

RNA 修飾による消化器がんの進展機構の解明と革新的診断法の開発

今野 雅允（産業技術総合研究所）

司会：森 政之（信州大学医学部）

14 : 20～14 : 30 休憩（10 分）/ポスター撤収

14 : 30～16 : 30

シンポジウム 老化を知り、制御する II

腸内細菌叢由来ポリアミンを利用した老化遅延戦略

松本 光晴（協同乳業株式会社研究所）

食事で加齢による睡眠の変化に対応できるのか？

大久保 剛（仙台白百合大学）

口腔と老化—咀嚼機能低下から始まる全身の衰えとその制御に向けた補綴的視点

秋山 謙太郎（岡山大学大学院医歯薬学研究科）

老化と腎臓、間葉系幹細胞を用いた慢性腎臓病に対する治療法の開発研究

中島 歩（山梨大学大学院総合研究部医学域）

司会：松原 主典（広島大学大学院人間社会科学研究科）

千葉 陽一（香川大学医学部）

16 : 30～16 : 40 休憩 / ポスター撤収

16 : 40～16 : 55 若手研究奨励賞 授賞式

16 : 55

閉会の辞

第 40 回老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会大会長

味八木 茂（香川大学医学部）

謝 辞

本学術大会の開催にあたり、以下の企業様からご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

オリエンタル技研工業株式会社

株式会社インボディ・ジャパン

富士フイルム和光純薬株式会社

株式会社トワメイト

池田食研株式会社

株式会社トミー精工

広島和光株式会社

MIXELL 株式会社ミクセル

株式会社 BGI ジャパン

住商ファーマインターナショナル株式会社

〈連絡先〉

第40回 老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会 事務局

E-mail: hkiyoko@hiroshima-u.ac.jp

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号（広島大学）

電話/FAX : 082-257-5232/5234

大会長 : 味八木 茂（香川大学医学部）

大会長補佐 : 松原 主典（広島大学大学院人間社会科学研究科）

事務局 : 堀本 清子（広島大学大学院整形外科）

岩部 由紀子（香川大学医学部組織細胞生物）